

2007年5月21日

富士重工業 新型塵芥収集車「フジマイティ- LP81 型シリーズ」の販売を開始

富士重工業は、塵芥収集車のラインナップを拡充、小型トラックシャシベースの新型回転板式フジマイティ- LP81 型シリーズとして、LP481、LP581、LP680、LP680L の4型式を5月22日より全国のフジマイティ-販売特約店を通じて発売する。

今回販売を開始する新型 LP81 型シリーズは、塵芥収集車市場でのトップメーカー、富士重工業と新明和工業の二社が共同開発したもので、開発コードは G-RX。両社の共同開発は、2005年から販売を開始しているプレス式塵芥収集車 G-PX に続くもので、回転板式としては今回が初めてとなる。

“徹底的に低騒音化・高性能化を追及し、さらに、新しさを象徴する斬新なデザインの回転板式塵芥収集車”を開発コンセプトにして、両社のそれまでの商品の特徴である積込力と積込効率をより高めるとともに、プレス式の G-PX シリーズにも通じる、これまでの塵芥収集車にはない洗練されたデザイン形状を採用している。

また、プレス式の発売で設定した自主安全基準「SAFETY21」を踏襲して、後方確認のバックアイカメラや後方からの視認性の向上をはかるためのハイマウントストップランプを標準装備とし、引き続き安全性の向上を図っているとともに、今回は、CO₂を利用した荷箱内の火災拡大を抑制する装置をオプションで設定して、昨今増加している塵芥収集車の火災事故の被害を少なくするという安全性の向上も図っている。

富士重工業は、これまでのプレス式と今回の回転板式の新型効果により、2009年度までに年間販売2千台の体制構築を目指す。

なお、富士重工業と新明和工業は、「2007NEW 環境展（5月22日～25日、東京ビッグサイト）」に両社共同の「G-MET project ブース」を設け、新型塵芥収集車の発表展示を行なう。



フジマイティ- LP481

【商品概要】

1. 主要諸元

架装型式	LP481	LP581	LP680	LP680L
架装適合シャシ	2～3t 車 (標準幅)		3～4t 車 (広幅)	
荷箱容積	4.4 m ³	5.1 m ³	6.1 m ³	6.5 m ³
積込サイクル	約 10～11 秒			

2. フジマイティ LP81 型シリーズの特長

(1) 低騒音化と積込力・積込効率向上

パワーライン、油圧配管の見直しによる積込力強化および低騒音化
ごみの流体特性に適したプッシュプレート形状による積込力強化・高効率化

(2) 自主安全基準 SAFETY21 の設定

マイク付バックアイカメラの標準装備。

後退時の後方確認だけでなく、積込作業の様子を運転席のモニターから確認可能。作業者の声を運転席で確認可能。

ハイマウントストップランプ・追加方向指示器の標準装備。

灯火類の配置や形状を後方からの視認性の向上をはかるために最適位置と形状に設定。

防災・不燃化対策装備。ハーネスや油圧ホースには耐火シートを装着。

CO₂ (炭酸ガス) を利用した荷箱内火災拡大抑制装置の設定 (オプション対応)。

(3) デザインの一新

ボディとテールゲートが一体化となったデザイン。

ホップドアの開閉はインナーライダーを採用し、突起物のない洗練されたデザインの実現。